

熱可塑性ポリアイミドワニス

Q-VR-X1444 のご紹介

用途：基板材料、耐熱絶縁材料、コーティング材料、等各種 耐熱・接着用途

1.性質

1-1)特徴

熱可塑性ポリアイミドワニスです。既にポリアイミド化しておりますので、溶媒を飛ばすだけでポリアイミド皮膜が得られます。また、樹脂骨格中に極性基を設けておりますので、高い接着性を得られる事が特徴です。



1-2)一般項目

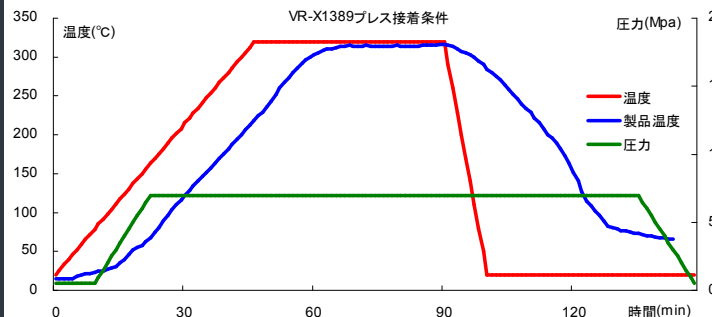
項目	単位	特性値	備考
溶媒	-	NMP	基本 NMP の単一溶媒ですが、BAME,γ-BL 等との混合溶媒も可能です。
固形分	%	15-20	左記範囲内が標準です。
粘度	cp	3,000-8,000	at 25°C(固形分 20%)
外観	-	黄褐色	at 25°C

2.使用方法

ポリアイミド皮膜作成方法(厚み 15umt 狙い)

塗布施工(スピンコート、バーコーター等) → 乾燥(熱風乾燥、IR 炉等)

乾燥条件例：120°C×15min+150°C×15min+180°C×15min+210°C×15min+240°C×30min



プレス接着条件

(皮膜作成後、他物質と接着させる事が出来ます。)

製品温度：300°C以上×20min 以上

圧力：5Mpa 以上

3.物性

項目	単位	特性値	備考
ガラス転移点	°C	224	TMA
熱膨張係数	ppm/K	50	TMA(50~200°C)
熱分解温度	°C	421	Td5
弾性率	Mpa	3,600	-
強度	Mpa	121	-
伸び率	%	6.4	最大荷重点にて

4.お問い合わせ先

〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 12-5

株式会社ピーアイ技術研究所 横浜本社 営業部

TEL：045-778-3355

FAX：045-778-3356

E-mail：info@pird.co.jp